

## 平成 25 年度「宝くじ松」配布事業 実施報告

当センターでは、(一財)日本宝くじ協会の助成を受けて全国のマツを守る活動を行う団体にマツ苗を配布し、マツ枯れによって失われた松原の再生を図るとともに、マツの保護育成技術の普及啓発活動を行っています。

### ■ これまでの実績

これまでおよそ 10 万本あまりのマツ苗を 500 か所以上に配布する実績をあげています。

- ① 昭和 60 年～平成 14 年 (日本の松の緑を守る会実施)  
45 都道府県 413 か所 28,283 本
- ② 平成 16～24 年 (日本緑化センター実施)  
38 道府県 124 か所 67,649 本

### ■ 25年度の実績

平成 25 年度は鳥根県と福岡県の団体に合計 2,200 本の抵抗性マツを含めた苗を配布しました(表 1)。いずれも、住民の生活を守ってきた松原がマツ材線虫病により大きな

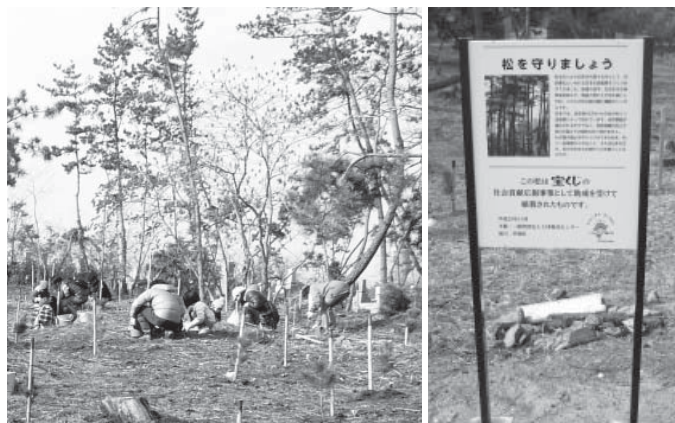
被害を受けたため、松原の再生に取り組んでいる団体です。2013 年 11・12 月にボランティアや地域住民、子どもたちが参加して、植樹を行いました。

これらのマツ苗が地域の方々に見守られながら成長し、次世代に受け継がれていくことを願っています。

本事業は、8 月下旬より次年度の実施団体を公募します。

表1 平成25年度「宝くじ松」事業実施概要

都道府県	事業実施団体名 植栽場所	樹種	植栽本数 (本)
鳥根県	浜山を守る会 鳥根県立浜山公園	抵抗性 クロマツ	1,000
福岡県	芦屋町 鶴松保安林	抵抗性 クロマツ	800
福岡県	NPO 法人はかた夢松原の会 福岡市西部水処理センター	抵抗性 クロマツ	400
計	3 か所		2,200



植栽風景 (写真提供: 芦屋町)

「宝くじ松」植栽場所には、マツ樹植栽の趣旨と当センター並びに(一財)日本宝くじ協会の寄贈であることを示す表示板を設置